

議員提出議案第1号

障がい者施設整備等において地域の実情に応じた支援拡充
を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定
により提出します。

平成28年7月1日 提出

提出者	橋本市議会議員	石橋 英和
賛成者	橋本市議会議員	中本 正人
〃	橋本市議会議員	土井 裕美子
〃	橋本市議会議員	岡 弘 悟
〃	橋本市議会議員	松浦 健次
〃	橋本市議会議員	杉本 俊彦
〃	橋本市議会議員	井上 勝彦
〃	橋本市議会議員	田中 博晃
〃	橋本市議会議員	堀内 和久
〃	橋本市議会議員	岡本 安弘
〃	橋本市議会議員	小西 政宏
〃	橋本市議会議員	樽井 豪男
〃	橋本市議会議員	辻本 勉
〃	橋本市議会議員	今城 敏仁
〃	橋本市議会議員	高本 勝次
〃	橋本市議会議員	阪本 久代
〃	橋本市議会議員	森下 伸吾
〃	橋本市議会議員	楠本 知子
〃	橋本市議会議員	小林 弘
〃	橋本市議会議員	坂口 親宏

障がい者施設整備等において地域の実情に応じた支援拡充を求める意見書

第4期障害福祉計画（平成27～29年度）では、国の基本的理念として、施設入所等から地域生活への移行、また成果目標として、地域生活移行及び施設入所者数の削減についての数値目標を示すなど、障がい者及び障がい児を入所施設や病院から地域生活に移行する体制づくりが計画の方針とされています。

しかし、世話をしている家族が高齢化等により介護ができなくなったり、障がい者本人の障がいが重度化した場合、受け入れてくれる施設等があるのかとの大きな不安を抱いているご家族も多くいます。

また、短期入所施設（ショートステイ）は、障がい者が地域で生活していく上で不可欠な施設です。不足している地域においては、障がい者等が利用したい時に利用できないなど、地域生活への移行が非常に難しいという状況が考えられます。

このように、地域の実情やニーズは複雑多岐にわたることから、それぞれの地域の実情に応じた柔軟な施策が必要です。

よって、国におかれては、地域の実情を十分考慮し、下記事項にかかる措置を講ぜられますよう要望します。

記

1. 施設整備等に係る財源措置の充実を図ること。
2. 短期入所施設の拡充や体制整備等の強化を進めること。
3. 障がい者及びその家族等の不安を解消する施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成 年 月 日
橋本市議会

（提出先）衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣